



「つながる」



エピソード



智子には現在1歳半になる雄介がいるが、子育てにあまり自信がなく、育児書を読み、そのとおりにならないと不安になり、つい雄介にあたってしまう。

そんなある日、近所の人がつどいの広場に誘ってくれた。

智子「せっかくだから行ってみようかな。ちょっとドキドキするけど。」

陽子「こんにちは。初めて来られたんですか？」

智子「はい……」

陽子「よく来ましたね。さあ、こちらへどうぞ。」

智子「ありがとうございます。」

陽子「かわいいわねえ。うちの子もこんな時があったなあ。」

智子「お子さんはおいくつなんですか？」

陽子「上の子が中学生で、下の子は小学生になったところ。大きくなったらなったでいろいろあるわよ。」

そう言いながら、陽子は笑った。



智子「うちの子は今1歳半なんですけど、ことばが遅くて……」

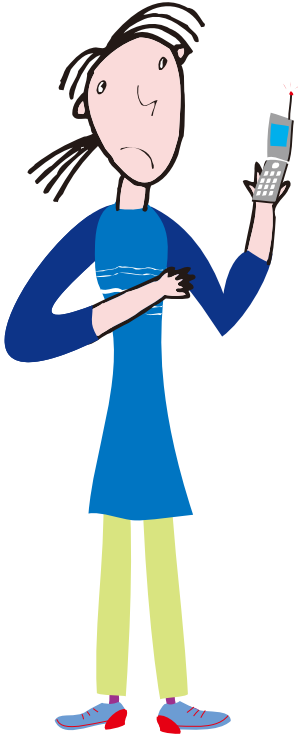
育児書なんかを見てるとみんなより成長が遅いんじゃないかと不安で……」

陽子「そうねえ、でも子どもなんてなかなか育児書どおりにはならないわよ。私も長男の時はそうだったわ。子どもの成長は個人によって、差があるものなの。だから、育児書のとおりにならなくても大丈夫。本は一つの参考なんだから。」

智子「でも、やっぱりよその子どもと比べてあせってしまうんです……」

グループワーク

1 智子さんの最後の意見についてどのように感じますか



2 子どものどんなことで不安になりますか

